

熊本おもてなし武将隊

熊本城おもてなし武将隊はリエナクターの一団で、熊本・九州の歴史に登場する重要な人物を再現し、熊本城を訪れる人々をもてなしています。彼らは、熊本城を築いた加藤清正（1562-1611）や、隣の小倉藩の藩主・細川忠興（1563-1646）など、歴史上の人物を演じています。忠興の息子は、11代にわたって城から熊本を治めた細川家の初代当主です。

舞台となるのは、飲食店や商店が立ち並ぶ熊本城内の城下町を再現した「城彩苑」にある屋根付き野外ステージです。リエナクターたちは当時の衣装（重さ15キロの武者甲冑など）に身を包み、上品な言葉遣い（日本語が中心ですが、片言の中国語や英語も含まれます）で話したり、カメラや車などの現代の道具を古めかしい名前と呼んだりなど、ユーモラスなパフォーマンスを繰り広げます。槍や長刀などの伝統的な武器を使って、出演者同士が戦います。観客は、リエナクターの（と一緒に）写真を撮ったり、ソーシャルメディアに投稿したりするよう促されます。

日本史の歴史ファンやゲーム好きの方は、パフォーマンスで10人の歴史上の人物が演じられていることに気づくかもしれません：

加藤清正（1562-1611）：肥後藩主
細川忠興（1563-1646）：小倉藩主
小西行長（1555-1600）：肥後南部の領主
島津義弘（1535-1619）：薩摩藩主
黒田官兵衛（1546-1604）：中津城城主
大村喜前（1568-1615）：大村藩主
松井興長（1582-1681）：細川家の家臣
八十姫（1601-1666）：加藤清正の娘で、徳川家康の養女の娘にあたる
南条元清（1614 没）：加藤家の家臣で槍の達人
飯田覚兵衛（1632 没）：加藤家の家臣